第１４号

社協だより

吉田校区
社会福祉協議会
令和5年2月10日

ごあいさつ

校区社協　会長　田地行　実

年頭は穏やかな日よりが続きましたが、中旬以降は積雪があったりしての未だ寒中のさなかです。また、相変わらずのコロナ禍でインフルエンザも重なり大変心配です。

この三年間は各種研修会・講習会、敬老祝賀会など、校区社協事業が中止や縮小といった自粛を余儀なくされました。そうした中で、四年度は現在まで、アドバイザー研修会と健康長寿講座の一回目を実施しました。

敬老祝賀会は中止になりましたが、七十二才以上の方にはお祝いの品と、喜寿を迎えられた方には記念品をお届けしました。

また校区合同七草祝は、新年一月七日にコミュニティセンターにて開催されました。今年は八名が七草を迎えられました。無病息災、健やかな成長を願って記念品を贈呈してお祝いしました。

今後とも感染状況を注視して、鹿児島市や他の団体の取り組み等を見極めながら活動を進めてまいります。

校区社協が地域福祉の手助となるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

喜寿記念品贈呈

アドバイザー研修会

【福祉アドバイザー研修会】

七月二十八日、一人暮らしの高齢者等の見守り活動をしておられる方を対象に研修会を開催しました。市社会福祉協議会の高木恵美子様による「見守り活動について」と、長寿あんしん相談センターの吉満真由美様による「介護保険制度、福祉サービス利用」について研修しました。当日は各集落の公民館長さんや福祉アドバイザーさんなど三十名の参加があり、見守り活動の益々の重要性を再認識する研修会になりました。

【健康・認知症予防講座】

校区社協では、自立した生活を送れる年数を延ばすために「健康長寿をめざす講座」を続けてきました。今年度も色々計画していましたが、コロナ禍で延び延びになっていました。やっと十一月二十五日に三十名の参加のもと開催することができました。久しぶりの楽しい講座になりました。

健康長寿講座

紙ふうせん

前宗公民館　井前眞人

名古屋銘菓「手風琴」をいただきました。空っぽになった菓子箱を覗くと、底に「紙ふうせん」が残っていました。ああ、やっぱりそうかと、うれしくなりました。

早速、紙ふうせんを膨らませ、家内と「紙ふうせんバレー」をしました。「一つ、二つ、三つ」「七つ、八つ、九つ」と。紙ふうせんはゆっくり飛ぶので高齢の二人でも長く続きます。

「喉乾いたね」とお茶を飲みました。私どもの小さいころは、越中富山の置き薬屋さんが、お土産に「紙ふうせん」を持ってきてくれていました。そんな昔話をした後、もう少し紙ふうせんバレーを続けました。

あとがき

この「社協だより」の発行には市社協をとおして「赤い羽根共同募金」の助成を受けております。